

様式第3

(補償物件等調査算定業務)

補償物件等調査算定業務成績調書									
						令和	年	月	日
担当課名:						財政局 理財部 用地課			
委託業務名									
契約金額	当初: ¥		円	最終: ¥		円			
履行期間	当初:	令和 年 月 日から			最終:	令和 年 月 日から			
		令和 年 月 日まで				令和 年 月 日まで			
完了年月日	令和 年 月 日			完了検査年月日	令和 年 月 日				
受託業者及び代表者名	(代表者)								
業務担当者 氏名									
総括調査員 職・氏名	課長 ○○ ○○ ㊟								
主任調査員等 職・氏名	用地第○係長 ○○ ○○ ㊟			主任 ○○ ○○ ㊟					
完了検査員 職・氏名	課長 ○○ ○○ ㊟								
評価項目	主任調査員等 評定点 ①	総括 調査員 評定点 ③	完了 検査員 評定点 ⑤	業務評定⑦ (注1)		業務 担当者 評定	備考		
専門技術力	提案力、改善力	60	—	—	①×10/10	60.0	60.0		
	業務執行技術力	36	0	20	①×5/10+ ③×3/10+ ⑤×2/10	22.0	22.0		
	施工時 への 配慮 (注2)	概略設計、 予備設計	—	—	—	—	—	—	
		詳細設計	—	—	—	—	—	—	
	コスト把握力(注2)	—	—	—	—	—	—		
管理技術力	工程管理能力	42	—	—	①×10/10	42.0	42.0		
	品質管理能力	60	—	—	①×10/10	60.0	60.0		
	迅速性、弾力性、調整能力	60	—	—	①×10/10	60.0	60.0		
コミュニケーション力	説明力、プレゼン テーション力、協調性	28	—	20	①×5/10+ ⑤×5/10	24.0	24.0		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	20	20	—	①×5/10+ ③×5/10	20.0	20.0		
成果品の品質		14	—	14	①×1/10+ ⑤×9/10	14.0	14.0		
⑩=⑦の評定点の加重平均点(注3)		—	—	—	—	30	30		
⑪事故等による減点		—	—	—	—	0	0		
⑫瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	—	0	0		
⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫		—	—	—	—	30	30		

- 注) 1. 各評価項目の「⑦業務評定」は少数第一位までとする。
 2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は設計業務のみ評定の対象とする。
 3. 「⑩=⑦の評定点の加重平均点」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

採点表

補償物件等調査算定業務 ①〔主任調査員等用〕

(1/4)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	1.0	0.8	0.6	0.4		
提案力、改善力 〔加点評価〕	業務着手段階における業務特性等の配慮	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	0.8	1.0	12.0	<input type="checkbox"/> ▶当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ▶当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注1)	
	業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	0.8	1.0	24.0	<input type="checkbox"/> ▶作業(業務)遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ▶関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度なレベルに基づく提案がなされた。注1)	
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	0.8	1.0	12.0	<input type="checkbox"/> ▶当該作業(業務)で、検討課題がもれなく抽出された。 <input type="checkbox"/> ▶検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。	
	業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	0.8	1.0	12.0	<input type="checkbox"/> ▶作業(業務)の作業効率を向上させる提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)の内容・精度を向上させる提案がなされた。	
	小計	100					60.0	①	
プロセス評価 専門技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.2 " =1 ⇒ 0.4 " =2 ⇒ 0.6 " =3 ⇒ 0.8 " =4 ⇒ 1.0	0.2	0.4	0.6	4.0	<input type="checkbox"/> ▶作業計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ▶当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ▶作業計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ▶仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(業務)、事業が理解されていた。	
	必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.2 " =1 ⇒ 0.4 " =2 ⇒ 0.6 " =3 ⇒ 0.8 " =4 ⇒ 1.0	0.2	0.4	0.6	4.0	<input type="checkbox"/> ▶作業(業務)着手時点において、必要書類(着手届等)が提出された。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的に提供された。	
	検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.2 " =1 ⇒ 0.4 " =2 ⇒ 0.6 " =3 ⇒ 0.8 " =4 ⇒ 1.0	0.2	0.4	0.6	4.0	<input type="checkbox"/> ▶検討項目は、仕様書等の設計図書の項目を満たしていた。 <input type="checkbox"/> ▶採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ▶採用された検討(業務)手法は、他の業務実施事例、補償事例等を収集し参考するなど難易度の高いものであった。注1)	
	打ち合わせ資料の内容 〔減点評価〕	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 1.0 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 0.6	1.0	0.8	0.6	20.0	<input type="checkbox"/> ▶打ち合わせ資料に、作業(業務)の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 <input type="checkbox"/> ▶打ち合わせ資料に大きなミスがあった。	
	十分な技術力	20	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.2 " =1 ⇒ 0.4 " =2 ⇒ 0.6 " =3 ⇒ 0.8 " =4 ⇒ 1.0	0.2	0.4	0.6	4.0	<input type="checkbox"/> ▶作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ▶仕様書等に示された当該作業(業務)特有の課題に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> ▶作業(業務)遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ▶新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1)	
小計	100					36.0	①		

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足について」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順、 工程計画 〔減点評価〕	30	評価細目チェック数=0 ⇒ 1.0 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 0.6	1.0	30.0	<input type="checkbox"/> > 契約締結後14日以内に履行計画表が提出されないなど、速やかに作業(業務)着手がなされなかった。 <input type="checkbox"/> > 履行計画表には、設計図書(仕様書等)に示された事項が適切に反映されていなかった。	
			実施体制	10	右記評価細目の該当項目の上から順次 [1.0] [0.8] [0.6] [0.4]	0.0	0.0	<input type="checkbox"/> > 人材、人員の配置は適切になされていた。 <input type="checkbox"/> > 人材、人員の配置は、概ね適切になされていた。 <input type="checkbox"/> > 人材、人員の配置に不備な面があり、支障は生じなかったものの不安があった。 <input type="checkbox"/> > 人材、人員の配置に不備な面が多く、業務遂行の過程で支障が生じた。	
			打合せ内容の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	6.0	<input type="checkbox"/> > 打合せ後、速やかに打合せ記録簿が提出された。 <input type="checkbox"/> > 打合せ記録簿の記載内容が打合せの結果を適切に反映し、進め方や協議事項等を的確に整理していた。	
			内部関係者への情報伝達	10	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	6.0	<input type="checkbox"/> > 受注者内で意思疎通がなされ、指示や協議事項がその後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> > 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、不明点等が解消されていた。	
			工程管理	40	右記評価細目の該当項目の上から順次 [1.0] [0.8] [0.6] [0.4]	0.0	0.0	<input type="checkbox"/> > 計画書に基づき常に進捗状況を把握し、履行期間全体にわたり余裕をもって工程管理が行われた。 <input type="checkbox"/> > 計画書に基づき適切に工程管理が行われた。 <input type="checkbox"/> > 計画書との違いも若干みられたが、概ね適切に工程管理が行われた。 <input type="checkbox"/> > 工程管理が不適切で、計画からの遅延や成果への影響があった。	
			小計	100			①	42.0	
品質管理能力 〔加点評価〕	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.6 " =1 ⇒ 0.8 " =2 ⇒ 1.0	0.6	60.0	<input type="checkbox"/> > 照査技術者を選任し、自主的な品質管理の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> > 品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で作業(業務)を行った。(管理係に要確認)			
			小計	100		①	60.0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0 ⇒				0.6	24.0	<input type="checkbox"/> > 業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更協議に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> > その結果生じた検討(作業)内容が特に優れていた。
			" =1 ⇒				0.8		
			" =2 ⇒				1.0		
				0.6					
	関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0 ⇒				0.6	18.0	<input type="checkbox"/> > 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料(水道工事業者やハウスメーカーの見積書等の資料)が迅速に作成され、円滑に対応した。 <input type="checkbox"/> > 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			" =1 ⇒				0.8		
			" =2 ⇒				1.0		
				0.6					
	地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0 ⇒				0.6	18.0	<input type="checkbox"/> > 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料(作業立入り、立会い、説明会等の資料)が迅速に作成され、適切に対応した。 <input type="checkbox"/> > 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			" =1 ⇒				0.8		
" =2 ⇒						1.0			
			0.6						
小計		100						① 60.0	
プロセス評価	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	6.0	<input type="checkbox"/> > 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> > 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> > 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> > 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			" =1 ⇒				0.4		
			" =2 ⇒				0.6		
				0.2					
	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	6.0	<input type="checkbox"/> > 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> > 質問に対する的確な回答がなされた。又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> > 通常の処理になじまない当該作業(業務)特有の課題が明確に識別されていた。 <input type="checkbox"/> > 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			" =1 ⇒				0.4		
			" =2 ⇒				0.6		
				0.2					
	説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	4.0	<input type="checkbox"/> > 説明の際に、理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> > 説明者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> > 理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> > 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			" =1 ⇒				0.4		
" =2 ⇒						0.6			
			0.2						
円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0 ⇒				0.6	12.0	<input type="checkbox"/> > 密に作業(業務)の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		" =1 ⇒				0.8			
		" =2 ⇒				1.0			
			0.6						
小計		100						① 28.0	

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目	
					標準							
					優	0.8	0.6	0.4	劣			
プロセス評価	取組姿勢	責任感、 積極性、 倫理観	責任感、 積極性	100	評価細目チェック数=0 ⇒					0.2	20.0	<input type="checkbox"/> > 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> > 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> > 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> > 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
					" =1 ⇒					0.4		
					" =2 ⇒					0.6		
					" =3 ⇒					0.8		
					" =4 ⇒					1.0		
					0.2							
		小計		100	①					20.0		
結果評価	成果品の品質	目的の 達成度	目的の 達成度	40	評価細目チェック数=0 ⇒					0.2	8.0	<input type="checkbox"/> > 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> > 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。 注1)
					" =1 ⇒					0.4		
					" =2 ⇒					0.6		
					" =3 ⇒					0.8		
					" =4 ⇒					1.0		
					0.2							
		的確な とりまとめ	的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数=0 ⇒					0.2	6.0	<input type="checkbox"/> > 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> > 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> > 簡潔な表現を用いるなど、記載方法に創意工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> > 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
					" =1 ⇒				0.4			
					" =2 ⇒				0.6			
					" =3 ⇒				0.8			
					" =4 ⇒					1.0		
					0.2							
		ミスの有無	ミスの有無	30	右記評価細目の該当項目の上から順次					0.0	<input type="checkbox"/> > ミスは無く、必要書類等も完備されていた。 <input type="checkbox"/> > 修正が必要なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> > 誤字・脱字、表記ミス等がわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> > 多少のミスは見られたが、重大なミスは無かった。	
					[1.0]							
					[0.8]							
					[0.6]							
					[0.4]							
					0.0							
		小計		100	①					14.0		

注1) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足について」を参照のこと。

補償物件等調査算定業務 ②〔総括調査員用〕

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優				劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.0					0	<input type="checkbox"/> > 当該作業(業務)の目的と内容が適切に理解されていた。 <input type="checkbox"/> > 当該作業(業務)に必要な情報、資料の把握が適切に行われていた。 <input type="checkbox"/> > 当該作業(業務)に必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討手法も作業(業務)目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> > 打合せ資料は、各段階で必要とされる内容が盛り込まれており、適切に整理されていた。 <input type="checkbox"/> > 当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、適切な業務の執行が図られていた。
	小計	100					0.0	③	0	
プロセス評価	取組姿勢	迅速性、弾力性、調整能力 責任感、積極性、倫理観	100	評価細目チェック数=0 ⇒ 0.2					20	<input type="checkbox"/> > 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> > 当該作業(業務)遂行にあたって、積極性・責任感が感じられる取組姿勢であった。 <input type="checkbox"/> > 現地調査などにおいて、関連事業者や近隣の方へ、特に丁寧な対応をするなど評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体で取り組むなど、組織として適切な対応が取られていた。
	小計	100					0.2	③	20	

補償物件等調査算定業務 ③〔完了検査員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	50	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	<input type="checkbox"/> > 検討項目は、仕様書等の設計図書項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> > 採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> > 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)
				" =1 ⇒				0.4	
	" =2 ⇒				0.6				
	" =3 ⇒				0.8				
" =4 ⇒				1.0					
			0.2						
専門技術力	十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	<input type="checkbox"/> > 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> > 仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行段階において発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> > 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1)	
			" =1 ⇒				0.4		
" =2 ⇒				0.6					
" =3 ⇒				0.8					
" =4 ⇒				1.0					
			0.2						
小計		100						⑤ 20.0	
コミュニケーション力	説明力	100	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	<input type="checkbox"/> > 質問に対する確かな回答がなされ、通常の処理になじまない当該作業(業務)特有の課題が明確に識別されていた。 <input type="checkbox"/> > 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。 <input type="checkbox"/> > 記録書の内容を補完する関連資料等が添付されており、説明に創意工夫がみられた。	
			" =1 ⇒				0.4		
	" =2 ⇒				0.6				
	" =3 ⇒				0.8				
" =4 ⇒				1.0					
			0.2						
小計		100						⑤ 20.0	
結果評価	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	<input type="checkbox"/> > 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> > 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> > 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注1)	
			" =1 ⇒				0.4		
	" =2 ⇒				0.6				
	" =3 ⇒				0.8				
" =4 ⇒				1.0					
			0.2						
成果品の品質	的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 ⇒				0.2	<input type="checkbox"/> > 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> > 理解づらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> > 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> > 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
			" =1 ⇒				0.4		
" =2 ⇒				0.6					
" =3 ⇒				0.8					
" =4 ⇒				1.0					
			0.2						
成果品の品質	ミスの有無	30	右記評価細目の該当項目の上から順次					0.0	<input type="checkbox"/> > ミスは無く、必要書類も完備されていた。 <input type="checkbox"/> > 修正が必要なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> > 誤字・脱字、表記ミス等がわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> > 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。
			[1.0]						
[0.8]									
[0.6]									
[0.4]									
			0.0						
小計		100						⑤ 14.0	

注1) 審査基準の巻末「参考:採点上の補足について」を参照のこと。

項目別評定点

委託業務名					
評価項目	評価の視点	業務評定 (評定点/満点)	業務担当者評定 (評定点/満点)	備 考	
専門技術力	提案力、改善力	60 点/100点	60 点/100点		
	業務執行技術力	22 点/100点	22 点/100点		
	施工時 への配 慮 (注1)	概略設計, 予備設計	—	—	
		詳細設計	—	—	
	コスト把握力(注1)	—	—		
管理技術力	工程管理能力	42 点/100点	42 点/100点		
	品質管理能力	60 点/100点	60 点/100点		
	迅速性, 弾力性, 調 整能力	60 点/100点	60 点/100点		
コミュニケーション力	説明力, プレゼンテー ション力, 協調性	24 点/100点	24 点/100点		
取組姿勢	責任感, 積極性, 倫 理観	20 点/100点	20 点/100点		
成 果 品 の 品 質		14 点/100点	14 点/100点		
評定点の加重平均点 (注2)		30 点/100点	30 点/100点		
事故等による減点		0	0		
瑕疵補修又は損害賠償による減点		0	0		
総合評定点		30 点/100点	30 点/100点		

注) 1. 「施工時への配慮」及び「コスト把握力」は設計業務のみ評定の対象とする。

2. 評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均点である。